

科目名称	人体の構造と機能Ⅰ（人体の成り立ち）	学年学期	単位数	時間数
		第1学年前期	1	30
担当教員	田口 聖	授業に関わる 実務経験	☒ 有（理学療法士） ☐ 無	

【1】授業概要

専門基礎分野、解剖生理学の入門部分に相当し、人体の構成および組織学と細胞学の総論的な内容を学ぶ。
栄養学・薬理学とも関連する化学の簡単な内容も含む。

【2】学習目標

1. 11の器官系の概要を説明できる。
2. 人体の方向を解剖学用語で表現できる。
3. 水素結合、イオン結合、共有結合の違いを説明できる。
4. pHの重要性を理解し、細胞内小器官の役割を説明できる。
5. 人体を構成する組織について一般的な分類ができる。
6. 生化学、分子生物学の基本的知識が理解できる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- ☒ 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- ☒ 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- ☐ 3. 地域の特性を看護に生かす力
- ☐ 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- ☒ 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	人体の基本的構成要素とその役割①	講義
2	人体の基本的構成要素とその役割②	講義
3	解剖学用語と栄養学や薬理学に必要な化学の基礎①	講義
4	解剖学用語と栄養学や薬理学に必要な化学の基礎②	講義
5	人体の構成と栄養素となる物質を構成する元素原子、化学結合、体液の恒常性に要するpHについて①	講義
6	人体の構成と栄養素となる物質を構成する元素原子、化学結合、体液の恒常性に要するpHについて②	講義
7	人体を構成する物質(糖、脂質、タンパク質、核酸)について①	講義
8	人体を構成する物質(糖、脂質、タンパク質、核酸)について②	講義
9	細胞の構造と働き①	講義
10	細胞の構造と働き②	講義
11	細胞と組織学、上皮組織とガンの関係①	講義
12	細胞と組織学、上皮組織とガンの関係②	講義
13	各組織と臓器の構成(結合組織、筋組織、神経組織)について①	講義
14	各組織と臓器の構成(結合組織、筋組織、神経組織)について②	講義
15	試験・まとめ	

【5】評価方法

筆記試験(多肢選択式と記述式の組み合わせ)、学習への取り組みで総合的に評価を行う。

【6】教科書

坂井 建雄:系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能Ⅰ 解剖生理学(第10版) 医学書院 2022(電子版)

【7】参考書

なし

【8】受講生へのメッセージ

人体の成り立ちと疾患との関わりを重視した授業を行います。毎回小テスト(小テストは最終評価に反映しない)を行い、次回の講義で復習します。